

女性技術士の会
ロールモデル集



女性技術者という希少種の女性たちが世に出始めてどれくらいたったであろう？今では理工系学生の半数以上が女性で占められている大学も現れ、技術系で働く女性の姿は珍しくなくなり、どうやら女性技術者はレズドデータブックからは削除されたようである。同時に女性を取りまく社会も徐々に変化し、第2次安倍内閣では女性の活用や社会参画が日本の強い経済を取り戻すために不可欠との認識を示し、そのための制度も見直されている。

しかし実際はどうだろうか？「男女共同参画白書」での男女比は工学系で男性88%、女性12%、理学系で男性74%、女性26%といまだ低い状態である。どうしてこのような状態が続いているのだろうか？第一に社会全体の理工系職業に対する認知度の低さが一因と考える。私の所属しているNPO法人女性技術士の会では理系進学の高校出前講座を行っている。

■ □

そこですまず驚くのが理工系進学についての知識があまりにも少ないとい

はたらくこと いきること

理工系女性の想い

仕事・人生を楽しむ心

うことである。「理工系の職業とは？」と言う質問に「医者」「薬剤師」「理科の先生」という3種類の職業しか出てこない。

これではいくら理工系の進出率を上げようとしてもうまくいくはずがない：知らないのだから。若者の社会知識の不足が理系人材の取りこぼしを招いているのは確かであろう。

第二にロールモデルの少なさである。社会制度が良くなったと言っても日本企業の90%以上は中小企業であり、彼女たちの回りに女性技術者のロールモデルがないことも理工系女性の進出を難しくしている。第3番目に、言い尽くされてはいるがやはり家庭と仕事の両立の難しさである。すでに技術士として活

足先だけは目標の方向に

躍している我々の仲間でも家事・育児、時には介護と仕事の両立に疲弊している女性は少なくない。数年前に開催した国際シンポジウムでは社会制度が充実した外国企業の女性たちも同じ悩みを抱えていることに驚いた。

■ □

その時、物理的な対策では解決できない何かがあると感じた。つまり理工系職に就く女性たちの生真面目さや気負い、責任感や頑張りの半面、家庭との両立で自家中毒気味になる女性も少なくないようである。そのような若い女性たちにはこのように言っている。

「人生にはいろいろな出来事がある。子育て、介護、病気：思わぬアクシデントも起きる、そのような時は前に進まなくてよい。ただし足先だけは常に目標の方向に向けておきなさい。足先を自

分の進みたい方向に向けておけばいつかは必ず目標にたどり着ける。そして技術職で活躍するには知識だけではダメ、健康な身体と精神、そして仕事を楽しむ心が必要。最後に「少し肩の力を抜いて、仕事を楽しんで：人生を楽しんで」という言葉を若い女性技術者に贈りたい。

栄設計 環境整備室
東京農工大学農学部
非常勤講師

木村 了



△プロフィール▽武蔵野美術大学造形学部建築学科卒。栄設計勤務。東京農工大学非常勤講師。公共建築・個人住宅の設計、公園・公共施設設計、農村地域計画・マスタープラン・農村環境設計を手がけている。